

平成28事業年度事業報告書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

1. 事業活動

(1) 公益目的事業

本事業については、研究開発助成等として12件21,613千円(表Ⅰ)、海外に対する普及協力及び国際交流等助成として2件1,900千円(表Ⅱ)、放送大学の学生に対する助成として18,487千円(表Ⅲ)、合計で前年度と同額の42,000千円の助成を実施した。

(単位:千円)

助成項目	平成28年度	平成27年度	対前年度比
研究開発助成等(表Ⅰ)	21,613	19,174	2,439
海外に対する普及協力及び国際交流等助成(表Ⅱ)	1,900	3,604	△ 1,704
放送大学の学生に対する助成(表Ⅲ)	18,487	19,222	△ 735
合計	42,000	42,000	0

表Ⅰ 研究開発助成等

研究開発事業名	申請代表者	所属大学・職名
放送大学の多様な学習支援システムの開発及び効果的な学生増加方策の検証について	來生 新	放送大学 副学長
放送大学印刷教材等の教材アーカイブ化とアーカイブの大学院教育への応用(3-3)	坂井 素思	放送大学 教授
放送大学型アクティブ・ラーニングのための教材開発(3-3)	秋光 淳生	放送大学 准教授
遠隔教授学習過程の記述:放送大学オンライン授業を対象に(3-3)	高橋 秀明	放送大学 准教授
反転授業方式による看護・保健系大学院生のための統計解析学習プログラム構築の試み(2-2)	戸ヶ里 泰典	放送大学 教授
放送大学オンライン科目の携帯端末視聴システムに関する研究(3-2)	鈴木 一史	放送大学 准教授
サイバー空間におけるセキュリティの研究(3-1)	高橋 和夫	放送大学 教授
放送大学オンライン科目で音声添削を行うためのシステム改良(3-1)	大橋 理枝	放送大学 准教授
モバイル学習世代に向けた統計学・データサイエンス教育のための印刷教材e-book化に関する開発研究～テキスト・映像・データ・分析ソフト・評価コンテンツの統合～	石崎 克也	放送大学 教授
放送大学における子育て支援科目の充実と体系化に関する研究(2-1)	大曾根 寛	放送大学 教授
情報系教育におけるプログラミングドリル教材支援システムの開発と教育手法に関する研究(3-2)	館 宜伸	金沢工業大学 基礎教育部基礎実技教育課程 情報基礎教育研究センター 講師
キャリア教育のための暗黙知教材の開発(3-3)	西村 美東士	聖徳大学 文学部・文学科・ キャリアコミュニケーションコース 教授

表Ⅱ 海外に対する普及協力及び国際交流等助成

事業名	申請代表者名	所属大学・職名
遊牧社会における遠隔教育の試行と研究－モンゴルを中心に(2-2)	稲村 哲也	放送大学 教授
ブータン王立大学との国際交流協定に基づくオンライン科目共同制作を通じた放送大学教材のブータンへの普及・協力事業(3-1)	河合 明宣	放送大学 教授

表Ⅲ 放送大学の学生に対する助成

① 学生団体活動への助成 (サークル情報誌、活動連絡等に係る経費の一部補助)
② 学生研修旅行への助成 (研修旅行に係るバス借上費等に係る経費の一部補助)
③ 放送大学同窓会連合会等が行う学生支援事業に対する助成 (学生相談会等の学生支援事業に係る経費の一部補助)
④ 障がいのある学生に対する学習環境整備に対する助成(特別枠) (車椅子対応机、点字プリンター等の整備)

(2) 印刷教材出版・頒布事業

本事業については、平成29年度新刊本(64科目)139.7千部、既刊本264.4千部、合計404.1千部を頒布した。学園への納入部数は、学部314.2千部、大学院11.4千部の合計325.6千部で対前年度14.9千部の減少、市販部数は学部70.6千部、大学院8.0千部の合計78.5千部で対前年度10.8千部減少した。この結果、合計では、対前年度25.7千部減少となった。

(単位:部)

区 分	内 訳	平成28年度	平成27年度	対前年度比
放送大学学園納入部数	学部	314,200	325,830	△ 11,630
	大学院	11,400	14,650	△ 3,250
	計	325,600	340,480	△ 14,880
市販部数	学部	70,556	80,035	△ 9,479
	大学院	7,985	9,289	△ 1,304
	計	78,541	89,324	△ 10,783
合 計		404,141	429,804	△ 25,663

(3) 放送教材複製・頒布事業

本事業については、授業科目について、新刊(17科目)1,530枚、既刊615枚の計2,145枚、特別講義について、新刊(2タイトル)12枚、既刊6枚の計18枚、合計2,163枚を複製・頒布した。授業科目の新刊頒布が増加(300枚)したことから、放送教材の複製頒布数は、対前年度比347枚の増加となった。

(単位:枚)

区 分	内 訳	平成28年度	平成27年度	対前年度比
放送教材	授業科目	2,145	1,785	360
	特別講義	18	31	△ 13
	計	2,163	1,816	347

2. 事業活動収支状況

(1) 印刷教材出版・頒布事業

本事業による収益は、放送大学への納入部数及び市販部数の減少により対前年度31,042千円減少の586,627千円となった。

一方印刷教材作成費は、対前年度19,348千円減少の246,266千円となり、この結果収支は、対前年度11,694千円減少の340,362千円となった。

(単位:千円)

区 分	平成28年度	平成27年度	対前年度比
印刷教材出版・頒布事業収益	586,627	617,669	△ 31,042
印刷教材作成費	246,266	265,613	△ 19,347
収 支 ①	340,362	352,056	△ 11,694

(2) 放送教材複製・頒布事業

本事業による収益は、新刊の授業科目の頒布が増加したことにより、対前年度2,579千円増加の21,434千円となった。

一方放送教材作成費は、頒布数量の増加に伴い、対前年度3,233千円増加の15,534千円となり、この結果収支は、対前年度654千円減少の5,900千円となった。

(単位:千円)

区 分	平成28年度	平成27年度	対前年度比
放送教材複製・頒布収益	21,434	18,855	2,579
放送教材作成費	15,534	12,302	3,233
収 支 ②	5,900	6,553	△ 654

(3) 資産運用等

基本財産・特定資産(放送教育振興基金)及びその他の投資有価証券の資金運用収益等は、変動金利型債券の利回りが、為替変動により減少したため対前年度31,500千円減少の34,667千円となった。

(単位:千円)

区 分	平成28年度	平成27年度	対前年度比
資産運用収益	32,639	63,894	△ 31,256
その他雑収益等	2,028	2,273	△ 244
計 ③	34,667	66,167	△ 31,500

(4) 助成事業・管理費等

助成事業は、前年度と同額。事業管理費支出については、経費の見直し等により対前年度15,707千円減少の276,256千円、管理費支出については、対前年度2,800千円減少の35,020千円となり、これらの支出の合計は、対前年度18,506千円減少の353,276千円となった。

(単位:千円)

区 分	平成28年度	平成27年度	対前年度比
助成事業支出	42,000	42,000	0
事業管理費支出	276,256	291,962	△ 15,707
管理費支出	35,020	37,820	△ 2,800
支出計 ④	353,276	371,782	△ 18,506

(5) 収支の状況

以上の結果、当期の経常増減額は、対前年度25,341千円減少の27,653千円となった。

また、当期一般正味財産増減額は、保有有価証券の時価評価損益が6,480千円増加した一方、法人税等17,068千円を納付した結果、17,064千円の増加となった。

(単位:千円)

区 分	平成28年度	平成27年度	対前年度比
事業収支合計 ⑤ (①+②+③)	380,929	424,776	△ 43,847
助成事業・管理費等支出合計 (④)	353,276	371,782	△ 18,506
当期経常増減額 ⑥ (⑤-④)	27,653	52,994	△ 25,341
投資有価証券評価損益等 ⑦	6,480	△ 39,620	46,100
固定資産除却損⑧	0	△ 5	5
法人税等 ⑨	17,068	18,357	△ 1,289
当期一般正味財産増減額 (⑥+⑦-⑧-⑨)	17,064	△ 4,988	22,052

3. 正味財産期末残高

上記の結果、平成28年度の正味財産期末残高は、2,856,081千円となった。

(単位:千円)

区 分	平成28年度	平成27年度	対前年度比
正味財産当年度末残高	2,856,081	2,839,017	17,064

4. 附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書

「事業報告の内容を補足する重要な事項」については、該当の事項はない。

(注)

- 1 消費税は、税抜き表示。
- 2 表の計数は、それぞれ四捨五入によっているため、端数において合計と合致しないものがある。